



# ふくえいだより

題字：晴楓ホーム・越原 和子さん



写真▶ (右回り) 目黒川花筏と桜並木・節分・新採用職員集合・福栄会中庭のこいのぼり

## 今号の主な記事

理事長挨拶 ..... 2

新制服紹介 ..... 4

新型コロナウイルス対策について ..... 3

新採用職員研修 ..... 5

## 新年度を迎えて



理事長 野村 寛

新型コロナウイルスの蔓延という大変な状況の中で令和2年度を迎えることとなりましたが、今年度も福栄会として、様々なことに取り組んでいきたいと思います。

### 一、開設30周年を迎えて

平成2年に本部施設を開設してから30年を迎えました。開設時には本部施設1箇所のみであった福栄会も、その後、大崎在宅サービスセンター、かみやき園、家庭あんしんセンター、かめ工房など事業を拡大し大きく発展してきました。このように発展してきたのも、品川区をはじめ、地元町会、関係団体の力強いご支援があったればこ

そと深く感謝しているところです。

この30年は社会福祉の世界で大きな変化がありました。こうした中にも福栄会は一冠して、「利用者を中心とした施設運営」「地域福祉事業との一体化」という基本理念のもとに運営してきました。これから複雑、多様化するニーズの変化に即応し、地域に根差し地域に開かれた福祉を推進していきたいと思えます。

### 二、新型コロナウイルス対策について

福栄会が高齢者施設を含む総合施設であり高齢者施設に感染が及んだ場合の危険性は言うまでもありません。国の示す指針はもとより、福栄会としても様々な工夫を凝らしながら感染防止に努めてきました。

幸いにして福栄会では今のところ感染は発生しておりませんが、終息までには最低1年はかかるとの話もあり、長丁場になることが見込まれます。これからも気を緩めずに万全の注意を払っていくことが、大切な利用者の生命を守るために不可欠です。

### 三、東品川ゆうゆうプラザの開設に向けて

品川区が新たに設置する東品川ゆうゆうプラザを福栄会が受託することとなり、9月開設を予定しています。この東品川ゆうゆうプラザは東品川シルバーセンターを改修し、新たに高齢者多世代交流支援施設としてスタートするもので、事業内容としては介護予防事業としての地域ミニデイや定期的な多世代交流イベントなど様々な事業を予定しております。

### 四、利用者、職員共に快適な施設に

福栄会の本部施設も築30年を経過し、老朽化が進んできています。今回の大規模修繕ではエレベーターの改修、照明のLED化、トイレの改修、浴槽の交換などを実施してきました。また、利用者の安全と職員の負担軽減を目指し、ベットの全面交換、自走式リフトや天井走行リフトの導入を進めてきました。今後とも天井走行リフトの計画的導入を進めるなど、利用者職員が共に快適に過ごすことができる福栄会を目指してまいります。

## 新型コロナウイルス感染症への対応

中華人民共和国湖北省武漢市において、令和元年12月以降、原因不明の肺炎の発生が複数報告されました。

令和2年1月に入り、世界保健機関（WHO）より、原因病原体が新種のコロナウイルス（以下、新型コロナウイルス）である可能性が高いとの声明が出されています。1月16日には、厚生労働省より武漢市からの帰国者に国内初の感染を確認したことが発表されました。その後、入国者等からのヒト・ヒト感染が疑われる症例が複数確認されるようになり、重症者や死亡者が出るなど、国内での感染の広がりを見せるようになりました。また、米国や欧州各国などでも多数の感染者が発生する状況となり、入国制限や都市封鎖など国際的な問題に発展しています。

当初は感染経路を特定し対策をとることで、感染拡大の防止が図られていましたが、感染経路が特定できない症例が出てきたこと、感染していても症状が現れない人もあるなど、感染へのリスクが高まる状況になりました。

3月下旬頃より、国内の感染者が増えだしたことから、4月7日、国から新型

インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が出されました。

これを受け、東京都や大阪府などの大都市を始め、全国的に外出や移動の自粛、商業施設などへの休業要請が行われるようになりました。4月30日現在、新型コロナウイルスの累計感染者数は、世界では300万人を、国内では14,000人を超える状況となっています。

新型コロナウイルスに感染した場合、高齢者と基礎疾患がある方については肺炎などが重症化しやすいことから、特別養護老人ホーム等の介護施設や障害者福祉施設を運営する当法人においても、ウイルスを持ち込まない、拡げないことに留意した対策が求められることになりました。そのため、各施設等において、厚生労働省が示す感染対策マニュアル等に基づいて、職員のマスクの着用、手洗いやアルコールによる手指消毒の励行、手すり等多数の人が接触する部分の定期消毒、居室等の換気の励行などを行うとともに、職員や利用者の体温計測による発熱等の健康状態のチェック、入所者への緊急やむを得ない場合を除く面会中止など、できる限りの感染症予防と拡大防止に取り組んでいます。

## 福栄会まつりは中止に

毎年5月に開催しています福栄会まつりですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、今回は中止させて頂くことにしました。さらに、地域ミニサロン、ミニデイ、子ども食堂、ボランティア・実習生の受入れ、町内祭礼の来訪などを中止するとともに、障害者福祉施設では通所サービスの利用自粛を促しています。

新型コロナウイルス感染症は、日常生活を始め、学校や社会・経済活動など様々な分野に大きなマイナスイメージをもたらしています。「人には感染させない」という意識を持った行動が大切と考えます。（仁平）



## 福栄会 新制服のご紹介

職員より「制服を一新したい」という希望があり、創立30周年記念事業の一つとして新制服の選定を行いました。

基本的なスタイルは、カラフルなポロシャツに紺色のストレッチパンツになりました。ポロシャツは、ピンクとグレーの2色。その日の業務に合わせて選択できます。

上着は気やすく、温かいグレーのジップジャンパーを準備しました。

入浴介助や公園清掃、クリーニング作業時に必要なTシャツは、速乾性の高い



新制服を着用した福栄会職員

素材のものを選び、さわやかなサックスブルーのTシャツに決定しました。  
新しい制服により気分一新、令和2年度、30周年の節目の一年のスタートです。  
(塚本)

## 東海中学校8年生の 職場体験報告

2月7～8日東海中学校8年生の生徒さん7名が進路学習の一環として、福栄会に来園され、東海ホーム、晴楓ホーム、東品川SC、しいのき学園に分かれて福祉施設の職場体験を経験されました。

晴楓ホームで体験された学生さんは、車椅子の体験学習、おやつ準備やお掃除、利用者さんとの清拭巻き等を積極的に体験され、利用者さんや職員に対しても礼儀や言葉遣いも丁寧で感心しました。

後日、生徒さんから「仕事がたくさんあり、大変だけれどやりがいのある仕事に感じました」と体験のお礼状をいただきました。

これに先立ち1月には7年生の生徒さんの職場体験もありました。来年の職場体験も楽しみにしています。  
(吉原)



車椅子体験



東品川SCで自己紹介

## ◎ 節 分

2月3日(月)、今年も福栄会の各事業所に赤鬼・青鬼が現れました。

各事業所の年男・年女の利用者の皆さんが袴を着て、豆まきを行いました。

利用者の皆さんの間を歩き回る鬼達に「鬼は外」の掛け声から豆をまきました。今年の鬼もしぶとく、なかなか倒れませんでした。最後は、参加者一丸となり「鬼は外・福は内」と豆を一斉に投げると、鬼を退治する事が出来ました。

今年も無病息災、皆さんが元気に毎日を過ごせますように：  
(吉原)

廊下で赤鬼・青鬼と遭遇



← デイサービスでも大暴れ

## 新規採用職員を よろしくお願ひします！



今春、福栄会では、満開の桜が咲き誇る中、新しい制服を身に付けた19名の新規採用職員を迎えました。

新型コロナウイルスの影響で、研修前の検温やマスク着用、手指消毒及び窓開け等で換気を行うなど、感染予防対策を実施した上、3月24日(火)から31日(火)の期間で新任採用時研修を実施しました。

全体研修では、法人の運営方針や高齢者福祉部・障害者福祉部・児童福祉部の事業概要の説明、虐待防止・情報保護規程等についての講義や外部講師を招いてのビジネスマナー及び人権について学びました。



また、防火実務者講習会では、火災時の避難方法や非常通報設備の操作などを職員同士で協力しながら体

験しました。研修後半の部署別研修では、各自配属先に分かれ、先輩職員の指導を受けながら、実践的な介護や支援の方法について学びました。

4月1日(月)野村理事長から一人ひとり辞令交付を受け、「健康に注意して、目の前の仕事を丁寧に行い、一人で抱え込まず、先輩職員に相談しながら仕事を行ってください。」との言葉を頂き、それぞれの配属先に向かいました。

ご利用者・ご家族の皆様にも応援いただき、皆様に信頼して頂けるよう、一人前の職員になってまいります。皆様、よろしくお願ひ致します。  
(和泉)



## 品川福祉保健従事者 実践・研究発表会



去る2月19日(火)に、令和元年度の品川福祉保健従事者実践・研究発表会が、品川区役所で行われました。

当日は、区内の福祉保健従事者の方々から、職場での日頃の取組みや成果の発表があり、晴楓ホームは「抱えない介護の実践」について発表しました。

当ホームでは、利用者さんの重度化に伴い、介護職員に腰痛が発生することが一時頻回となり、居室や浴室での移動には、リフト機器を導入し、ベット上では、ターンテーブル等を導入しました。

発表では、①腰痛職員や利用者さんの移動時に発生する打撲傷が減ったこと②職員の更なるスキル向上を目指し、リフト操作研修に参加していること③福祉職を目指す実習生は、リフト機器導入への関心が高く、採用に繋がっている等の効果を紹介しました。

今後も、利用者さん及び職員にとって快適な施設作りを目指してまいります。

(吉原)

## 新年度 法人人事往来

令和2年度の幹部職員配置が次のように決まりました。(4月1日付)

- 就任職員 (部長級)
  - 仁平 悟 (事務部長)
  - 金子 正博 (児童福祉部長兼務)
- 退任・退職職員 (部長級)
  - 平澤 治 (事務部長)
- 昇任職員 (課長級) (5月1日付)
  - 伊藤 賢一 (東品川在宅サービス課) (和泉)

## ご寄付御礼

- ご寄付ありがとうございました
- ◎ FC東京様▽障害者福祉施設
- ▽Jリーグチケット
- ◎ 株式会社アリミノ様▽法人へ
  - ▽ミニトシャンプー 408本
  - ▽ミニトマスク 408本
- ◎ 今井久子様・山下幸太郎様▽法人へ
  - ▽折りたたみ自転車 1台
  - ▽電動芝刈り機 1台

## 編集後記

◇新型コロナウイルスの流行により、福栄会の各施設も予防対策に追われています。気持ちも寒さがちになります。職員は、口角をあげて利用者さんと笑顔で過ごしています。笑い声がフロアに響くとほっとします。皆様もどうか体調に留意され、お過ごしください。(吉原)

## 福栄会基本方針

- ① 運営方針
  1. 利用者を中心とした施設運営
  2. 地域福祉事業との一体化
  3. 総合施設としての機能の発揮
- ② サービス方針
  1. 「自立の援助」と「相互援助」
  2. 専門的・科学的サービスの提供

福栄会では個人情報の取扱いを適正に行い、個人情報の保護に関する法律に基づいて厳正に管理いたします。

福栄会総合情報誌(年3回発行)

## 「ふくえいだより」

第88号 (春号)

2020年(令和2年)6月1日発行  
 編集人 吉原 伸一  
 発行人 野村 寛  
 発行所 社会福祉法人 福栄会  
 〒140-0002 品川区東品川3-1-18  
 TEL 03(5479)2981 (代)  
 FAX 03(5479)2943

## 福栄会施設一覧 ※品川区からの運営委託施設を含む。

### ●高齢者福祉部施設一覧

- ☆晴楓ホーム (特別養護老人ホーム)
- ☆併設型短期入所生活介護 (ショートステイ)
- ☆東海ホーム (軽費老人ホームA型)
- ☆東品川在宅サービスセンター
- ☆東品川在宅併設型認知症対応型通所介護 (ほかほか・なごみ)
- ☆東品川在宅介護支援センター
- ☆大崎在宅サービスセンター
- ☆大崎在宅単独型認知症対応型通所介護
- ☆大崎在宅介護支援センター
- ☆五反田保育園ふれあいデイホーム
- ☆ヘルパーステーション東品川
- ☆東品川わかかさ荘 (高齢者住宅)

### ●障害者福祉部

- ☆第一しいのき学園 (障害福祉サービス事業 生活介護)
- ☆第二しいのき学園 (障害福祉サービス事業 就労継続支援B型)
- ☆南品川むつみ園 (障害福祉サービス事業 生活介護)
- ☆西大井福祉園 (障害福祉サービス事業 生活介護・就労継続支援B型)
- ☆西大井つばさの家 (障害福祉サービス事業 共同生活援助)
- ☆グループホーム森前 (障害福祉サービス事業 共同生活援助)
- ☆グループホーム金子山 (障害福祉サービス事業 共同生活援助)
- ☆品川区東品川障害者相談支援センター (指定特定相談事業所)
- ☆品川区東品川障害者計画相談支援事業所 (指定特定相談事業所)
- ☆かがやき園 (障害者支援施設 施設入所支援 生活介護)
- ☆かもめ第一・第二・第三工房 (障害福祉サービス事業 就労継続支援B型)
- ☆精神障害者地域生活支援センターたいむ (地域生活支援事業 相談支援・地域活動支援センター)

### ●児童福祉部

- ☆家庭あんしんセンター (児童関連施設)
- ☆平塚ゆうゆうプラザ (施設貸出・介護予防事業ほか・子育て支援・多世代交流)